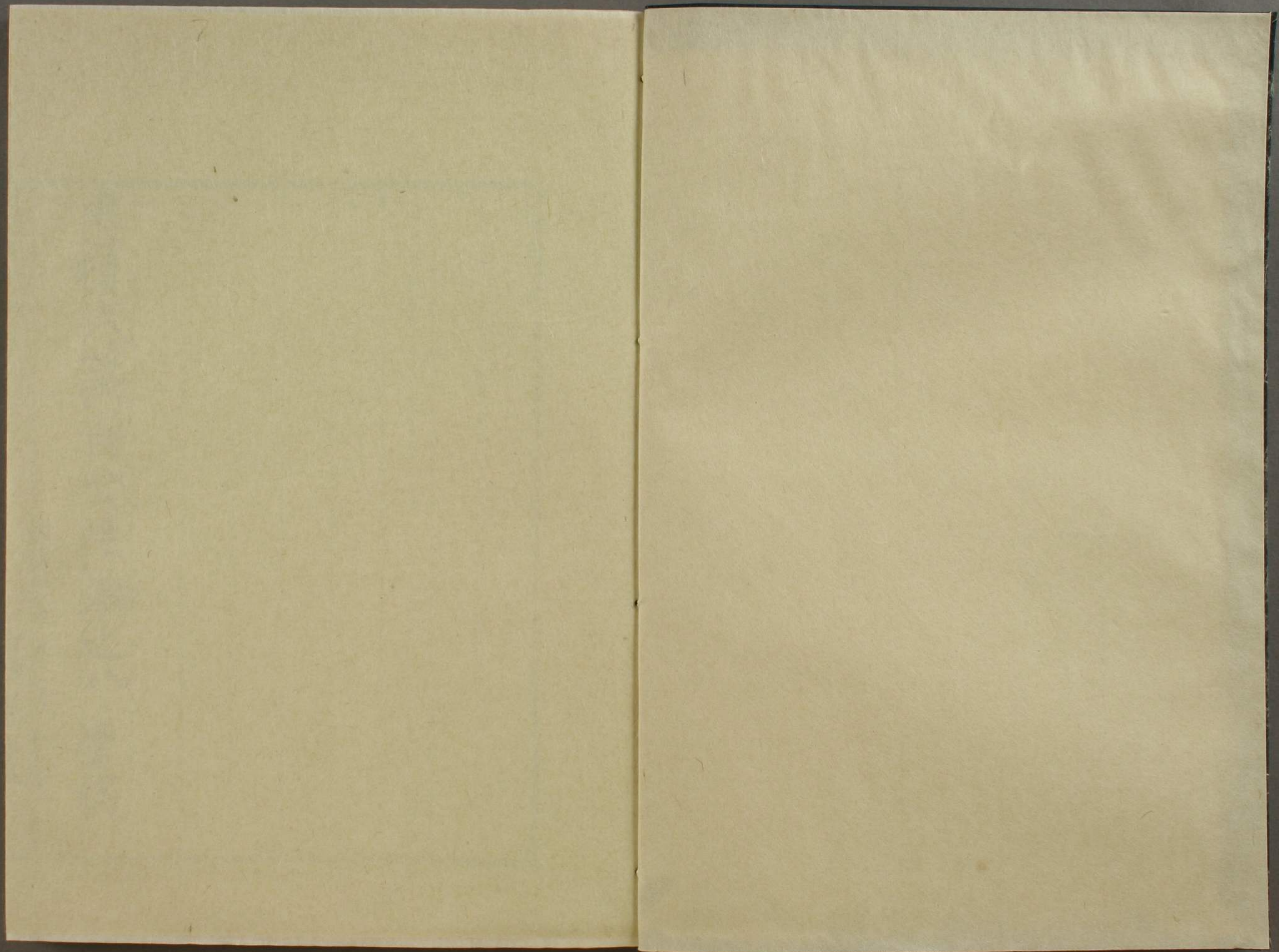


惠須氏
萬國公法
卷之八

洋学文庫
文庫8
C 157
4





憲法萬國公法卷之八 原稿

明治九年五月十日 澤田

憲法

惠頓氏萬國公法卷之八

第四篇

敵國ニ對シテ有スル權利

第一章

始戦ノ論及ヒ交戦ニ因テ直チニ生スル所ノ事件

第二百九十條 凡ソ獨立國互ヒニ戦端ヲ開キ
爰ニ兩國和議ヲ整ヘントスルニハ兩國承諾ノ
上他ノ中立國ニ頼ルニ非レハ中保ノ裁判ニ服
ス能ハス夫レ各國皆自國ヲ治ムルノ法律ヲ設

カニ用ニ寛ヲ
伸ルノ論

ケ以テ其國民ノ曲直ヲ審断スルトモ此各國迭
 ヒニ相交通スル時ハ抑、亦交際上普通ノ法律
 勿ル可カラス是レ萬國公法、無ン可カラサル
 所以ナリ若シ夫レ各國互ヒニ侵凌ヲ受ル中ハ
 其裁判ヲ需ムルノ道ナキヲ以テ遂ニカテ用ヒ
 テ以テ之ニ報エルノ權利アラサルトツ得ス猶ホ
 是レ法律ナキ地ノ人民他ノヨリ傷害ヲ受ル
 ニ訴テ法律ノ守護ヲ受テ辨シテ曲直ノ裁判ヲ
 得ルノ道ナキ中ハカテ用ヒテ之ニ報エルニ非
 レハ他ノ術ナキカ如シ

兩國既ニ紛議爭端ヲ生シ未タ交戦ヲ為スニ至
 ラサル前カテ用ヒテ之ヲ解クノ法四ヤリ
 一云ク害ヲ蒙ルノ國之ヲ蒙ラレムル國ノ船舶
 財貨其國ノ疆内ニアルモノヲ捕拿スル事
 二云ク曾テ兩國爭フ所ノ物貨アリ我之ヲ強奪
 シテ我カ有ト為シ彼ヲシテ所有ノ權利ヲ得セ
 シメサル事
 三云ク報復ノ權ヲ行ヒ或ハ彼ノ所為ト同一ノ
 法格ヲ以テ暗ニ報復ヲ圖ル事
 四云ク彼國ヨリ傷害ヲ受タル為メ十分ノ賠償

ヲ得ルニ至ル迄テ其國ノ人民財貨ヲ拘留シテ
強償^{レテ}強償トハ此國彼國ノ損害ヲ被リシムルヲ以
テ其損失ヲ強テ償ハシムルヲ得ル
、權ヲ行フ事

強償論

第二百九十一條 右ノ四條ハ交戦ニ至ラサル
前カヲ用ユルノ各種ニシテ即チ強償ヲ行フノ
各例ト区而シテ強償ニ二種アリテ之ヲ内外ニ區
別ス其内ナルモ、ハ爰ニ此國彼國ト約定ヲ結
ビタルニ彼ニ不正アルヲ以テ我レ其約内ノ義
務ヲ欠キタル時或ハ彼國ヨリ我ニ討ム可キ請
求アリト當ニ其權利ヲ得セシムサルモノヲ云

コ又其外ナルモノハ即チ彼國ニ屬シタル人民
財貨ヲ捕拿シテ以テ償ヲ計ムルモノヲ云フ
強償ヲ再別シテ一般ノ強償ト特別ノ強償トニ
種トス其一般ノ強償トハ此國彼國ノ損害ヲ蒙
リタルヲ以テ何レノ地ヲ論セス彼國ノ人民及
ビ財貨ヲ捕拿セシカ為メ此國ノ臣民ニ免狀ヲ
與ヘテ之ヲ行ハシムルモノヲ云フ近世ノ習俗
ニ從ハ抑之ヲ公裁初発ノ基本トス故ニ此時
ニ當リ之ヲ彼國ニ對シ我ヨリ我争ヲ挑ムノ舉
動ナリト察シテ連カニ賠償ヲ為サレハセス

交戦免レ難レトス又特別、強僕トハ平時此國
 人氏彼國ノ政府或ハ臣民ヨリ傷害ヲ蒙ルル
 時其之ヲ蒙リタル本人ニ報復免状レトリムハ報復免状ハ此國ノ
氏彼國ニ遺恨アルヲ以テ即チ之ヲ報
ヘンカ為ノ此國君ヨリ受ル免状ヲ云フ與ハ自
 ラ彼國ニ對シ強僕ヲ行ハレムルモノヲ謂フ
 強僕ヲ行フハ此國ノ人氏彼國ノ壓制ヲ受ルニ
 因リ之ヲ訟テ其朋断ヲ待ツト至モ更ニ正理ヲ
 得サル時ノ外決シテ報復免状ヲ出スヲナシ此
 免状ヲ出ヌハ其權全ク國君ニ歸シ從前各國ノ
 約章及ヒ其國法中ニ之ヲ出スノ條例ヲ奉ケタ

即チ英王第五世顯理ノ定律ニ云フ若シ英國
 人氏平時他國ノ強暴ヲ受ル時ハ其本人ニ報
 復免状ヲ與フ可キノ確條アリ又一千六百八十
 一年佛國ノ海軍律ニ佛人他國ノ強暴ニ遇フ時
 報復免状ヲ出ス方法ヲ詳論ス然レモ平時特別
 ノ強僕免状ヲ出ス丁ハ現今率子之ヲ廢止ス
 第二百九十二條 發得耳氏云ク兩國紛議ヲ生
 シカク因ヒテ互ヒニ相報復スル為メ強僕ヲ行
 フニ若シ彼國賠償ヲ拒ム時ニ至テハ止ムコトヲ
 得ス断然兵ヲ起シ以テ報復ヲ謀ルノ外道ナシ

トス抑之ヲ發争ノ始端トス故ニ若シ彼國此國ニ屬スル財貨ヲ奪フ時或ハ負債ヲ償ハサル時或ハ損害ヲ償ハサル時ハ彼國ニ屬スル財貨ヲ捕拿シテ之ヲ有シ或ハ相当トシテ之ヲ取り以テ彼ヨリ利息損失ト共ニ全償ヲ討ムルノ權アリ但之ヲ相当トシテ留ムルハ彼ヨリ償フ可キ模様アルカ或ハ裁利ヲ得ルカノ道アル時ニシテ之ヲ待ツト至レ後日其道既ニ絶ユルニ至レハ此時始メテ其貨ヲ沒收シテ官有トナシ始メテ強僕ヲ遂クルト云フ若シ兩國和ヲ失レ交戦

交戦ノ前敵貨ヲ捕拿スル論

ニ及フ時ハ既ニ此時ヨリ賠償ヲ討ムル能ハス前キニ捕拿スル所ノ物品ヲ沒收シ戰端ヲ開キタルナリ

第二百九十三條 嘗テ一千八百三年アリシ和議破レシ時英國政府ニテ和蘭我ニ敵對スルノ意アリトシテ英國港内ニ在ル和蘭ノ船舶貨物ヲ拘留セシ時公郎斯果德氏ノ說ニ云ク抑貨物捕拿ノ事件ニ付其最初之ヲ論スル時ハ意義ニ様アリ即チ爭フ所ノ事件和ニ復スル時ハ拘留ハ唯平時暫時ノ捕拿ニ歸スルノミ又之ニ

及レテ其事交戦ニ変スル時ハ平時ノ捕撃ニ非
ス既ニ二様ノ意義ヲ他シ全ク平和ノ不為ヲ肯
コセサルモノハ對レテ我ヨリ敵對スルノ不為
ト考定ス

第二百九十四條 以テ文明國師ヲ興スノ權或
ハ強償ヲ行フノ權或ハ其他德ヲ報復ヲ謀ルノ
權ハ悉ク國君ニ歸スル所ニシテ此權ヲ施行ス
ルハ各國共ニ國法ヲ以テ之ヲ定ム然レレ遠隔
所屬ノ地既ニ王權ヲ委シテ他國ト交通セシム
ル處ニ於テハ即チ王權ヲ以テ此權ヲ行フテ

公戦一名正戦
論

得可シ例ハ東印度英國通商會社ニ於ルカ如
シ

第二百九十五條 凡ク獨立國互ヒノ交戦ヲ名
ケテ公戦ト云フ著シ夫レ法格ニ照ラレテ戦争
ヲ公布シ或ハ既ニ戦端ヲ啓ク時ハ即チ公明ノ
戦争ニシテ兩國均シク戦争ノ各權ヲ有シ公法
ニ於テ兩國ノ曲直ヲ論スルナリ雙方戦理ヲ
有スルモノト考定シ公法ニ於テ許ルス不レ戦
權ハ皆行フ能ハサルナレ

第二百九十六條

全戦トハ兩國交戦ノ際全國

全戦限戦論

ノ臣民ツレテ我法ニ容ルス所ノ事ハ何ノ地何
ノ時ヲ論スルナリ敵國ノ全民ニ對シ枕敵ス
ルノ權和ヲ得セシムルヲ謂フ又限我トハ兩國
兵ヲ交ユルト重ク何ノ地何ノ人何ノ物ヲ定限
シテ我フモノヲ謂フ

一國內民間ノ戰爭ハ虎哥氏カローレス之ヲ名ケテ雜我ト
謂フ曰氏ニ從ハ其政府ニ枕テ之ヲ論スル時
ハ公我ト云ヒ其政府ニ報ク人民ニ枕テ之ヲ論
スル時ハ私我ト云フ然レモ各國ノ通習ニテ其
政府ニ枕クモノモ之ニ報クモノモ共ニ同一ノ

雜我即十内乱論

我權ヲ有シ中立國ニ對シテモ亦均シク我フノ
權利アリト云

戰爭公書論

第二百九十七條 凡ク交我ニ至ル時ハ敵國ニ
對シテ我爭ノ公書デクレーションヲ為スヲ兩國兵ヲ交ユルノ
要務トセリ故ニ昔時一般羅馬國ニ於テ比例ヲ
用ヒ尔後歐洲諸國ニ於テモ既ニ一千六百年間
ニ至ル迄テ皆比例ヲ遵守セリ即ケ一千六百三
十五年アリエセルニ於テ佛國西班牙ト我フ時猶
ホ中古ノ例ニ倣ヒ敵國ニ軍使ヲ遣テ我爭ノ公
書ヲ為シタリ其後遂ニ比例ヲ廢止ス方今ノ凡

習ハ唯我カ國內ニ領布シ洽子ク始戦ノ模様ヲ
告クハ、此公布ハ敵國ト往來スル我カ人民
注意シ、為ノ荒シ公法ニ於テ正戦ニ歸スル所以
ヲ知ラシムルニアリ若シ此公布ヲ為サ、ル時
ハ後日和約ノ時ニ至テ戦争正理ニ出ル事ト全
ク真害ヲ受タル事トヲ區別スルノ難キニ至レ
ハナリ蓋シ全ク真害ヲ受タル時ハ賠償ヲ討ム
ルノ得ルト云ヒ公戦ニ至レハ既ニ之ヲ討ム
ルノ能ハス

第二百九十八條 既ニ交戦スルニ當テハ敵國

始戦後我カ國內
在ニ敵貨ヲ没収ス
ル論

ニ對シテ公戦ノ公布或ハ其他ノ報知ヲ為スヲ
要セズ且ツ敵國ニ屬スル貨物ハ内外何レノ地
ニ在ルヲ論セス始戦ノ後ハ均シク捕拿シテ戦
利ト為ス^{クワイチ}得可シ然レモ公師此ニ論其説甚
ク同シカラス各國近世ノ通習ニテ敵貨何レノ
地ニ在ルヲ論セズ恣ニ之ヲ奪フノ戦權ヲ除キ
タト見ヘタ^ク其一例ハ即チ中立國ニ在ル敵
貨ヲ云フ蓋シ此中立國ニ在ル敵貨ヲ怒レテ奪
ハサハ所^ハ以^ハモ、ハ全ク我レ中立國ニ對スル
友情ニ出ル所ニシテ敢テ敵國ノ貨主ヲレテ所

有、權ヲ得セシムルニ非ルナリ、其他各國ニテ
聽ルス所、我權外ノ事ヲ論スル一左ノ如シ
古時羅馬ニ於テ他國ト交戦ノ際其國內ニ在ル
敵ノヲ捕シテ奴隸ト為レ或ハ意ニ之ヲ殺シテ
理アリトセリ故ニ我カ疆内ニ在ル敵貨ヲ奪テ
即チ奪フ人ノ所有トナス元ヨリ論ヲ俟タサレ
ナリ曾テ一千六百二十五年虎哥氏公法ヲ著ハ
シテ之ヲ論スルニ大抵羅馬ノ律ニ依ラサレナ
シ然レ氏同氏此書ヲ著ハス頃口人情稍仁厚ニ
赴キシヲ以テ從テ大ニ其法ヲ寬ニシ譬ハ我

際債主アリテ之ヲ敵ノ討求スルノ權アル時
ハ唯我際ノ之ヲ討ノス平和ヲ待テ再ヒ之ヲ
索ムルノ權アリトセリ一千七百三十七年實克
舍氏公法ヲ撰ニテ論スル所ハ虎哥氏ト同シ
羅馬ノ律法ニ據テ之ヲ説キタリ同氏ニ從ハ
元來交戦ノ始ノ敵ニ公帑ヲ為スヲ要セザレ
以テ爰ニ預メ敵國ト約定アリテ若シ兩國和ヲ
失シ交戦事ニ及フ時ハ互ニ先ツ貨物ヲ收回
ス可キノ條アルニ非レハ敵ノ貨物ヲ奪フニ
預メ之ヲ通知スルヲ要セザレナリ又此規則ハ

貨物ト同シク債員債等ニ及ホス1ツ得ルナリ
 同氏此規則ヲ確定セシカ為メ一千五百五十六
 年ヨリ一千六百五十七年ニ至ル迄ニ殆ビト一
 百有餘年各國此規則ニ從フノ諸例ヲ出レタリ
 然レモ同氏書ヲ著ハスノ前七十年即チ一千六
 百六十七年後此例ニ疑議ヲ生シ殊ニ和蘭宰相
 大ニ此ヲ駁シテヨリ以來其例ヲ見サレ1ツ載
 セタリ故ニ佛國ノ大亂前殆ビト一百五十年間
 古例ニ據ルモノ僅カニ一人アルノミ即チ所謂
 一千七百五十三年コレレシヤ1ツ員債ノ一事ニ

コレテ見レ英國普國ノ船舶ヲ捕拿セシニ因リ
 普王為メニ莫人ニ對シ強償ヲ行ヒシ一例ナリ
 千時英國公邸之ヲ論シテ云ク凡ソ王侯ヨリ庶
 人ニ償フ可キ員債アルニ王侯直チ之ヲ留メ
 テ強償ヲ行フノ例未タアルヘカラス夫レ庶民
 ヨリ王侯ニ對シ償フハ全ク王侯ヲ信シ面目ヲ
 重ニスルニ縁ルヲ以テ王侯若シ對シ償ハサル
 モ諸民ト一樣ニ裁廳ニ訴テ斷スル能ハサル
 ナリ曾テ英佛交戦ノ時公議ヲ守リ莫人佛國ニ
 公債アルモ佛人英國ニ公債アルモ其敵人ニ拂

フ可キ公債ハ措テ之ヲ問フイナレ

發得耳比敵貨
ヲ捕拿スル論

第二百九十九條 賓克舍氏著書、後二十年フ
經テ發得耳比公法、大理ヲ論シテ云ク凡ソ我
カ疆内ニ在ル敵國、貨物ハ不動産、外皆之ヲ
捕拿沒收スルヲ得ルイラ載セタリ蓋シ國王准
ルシテ他人ニ得セシムル不動産ハ本民ノ所有
スル不動産ト異ナルイナキヲ以テ之ヲ沒收ス
ルイ能ハス唯其生スル所ノ利徳ト至テハ封シ
テ之ヲ敵ニ送ルヲ免ルサハルノニ負債及ヒ其
他ノ貨物ハ皆奪テ之ヲ沒收ス因比曾テ虎哥氏

ノ舉ケタル一例ヲ引テ之ヲ論ス即チ是レ推詳
人ヨリ得撒利人ニ押フ可キ負債アルニ亞利三
德推詳ヲ破テ負債一百担金ヲ取り之ヲ恩施ト
シテ得撒利人ニ送リタル又國王ハ其國民ノ敵
國ニ負債アルモノヲ支配スルノ權アルヲ以テ
我際ニ押フ可キ期限ニ至リタル負債ヲ沒收
シ或ハ戰爭中其國民ヨリ敵人ニ押フ可キ負債
ヲ禁スルイラ得可シ然レモ現今歐協各國通商
ノ利益安全ノ為メ遂ニ此嚴法ヲ宏寬ニス夫レ
各國互ニ通商スルハ一般ノ風習ヲ守リ俱ニ

相信用スルニ由ルヲ以テ此通慣ニ背クモノハ
 大ニ公信ヲ害スルヲ以テナリ故ニ國家敵人ニ
 負債アリト雖モ其公信ニ託スルモノハ何レニ
 在ルヲ問ハス我時捕撃ノ權外ニ屬スルモノト
 以テ發得耳以又此權外ニ屬スル所以ヲ説テ云ク
 強償ニ於テ敵人ノ貨物ハ其國王ニ屬スルモ俱
 ニ均シク之ヲ捕拿ス然レモ其國君ニ屬スル萬
 貨公信ニ與託セラル、質物ハ之ヲ捕拿レテ強
 償ヲ行フ可カラズ蓋シ此ノ如キ質物ハ其貨主
 偏ニ我ヲ信シテ以テ我ノ手中ニ在ル所ノ物ナ

レハ我時ト雖モ宜シク保護セサル可カラズ莫
 佛其他各國公信ニ託スル金貨ニ就テモ亦此例
 フ遵守ス曰ク又云ク始我ノ後我ノ疆内ニ在ル
 敵國ノ人民及ヒ其貨物モ亦之ヲ強留スル能ハ
 ス是レ敵ノ此國ニ來ルハ全ク公信ニ出ル所
 ニレテ既ニ其居住ヲ准ルスニ於テハ始我ニ當
 テ亦帰國ノ自由ヲ得セシメ安全ヲ計ラシムル
 ヲ以テ通理ト以テ故ニ始我ニ當テハ敵ニ對シ
 國王預メ告シテ貨物ヲ收回運搬スルニ相当
 ノ時間ヲ與ヘ其帰國ヲ准ルス可シ故ニ敵人尚

ホ遅延シニ期日ヲ過ル時ハ之ヲ敵ノトシテ待
ツトフ得ルナリ然レモ真ノ敵ノト視ルニ非ス
唯兵仗ナキ敵ノト視ルノ也

第三百條 以上論スル所ヲ觀ルニ近世交際上
ノ通則ニ於テ始戦、後我カ疆内ニ在ル敵國、
貨物或ハ我カ政府ノ民ヨリ敵ノニ拂フ可キ負
債等ハ我利トシテ之ヲ捕拿スレテ能ハサルナ
リ但此規則ハ屢シ約定ヲ以テ取極ムルモノニ
シテ若シ其約定中ニ明條ナキ時ハ終令ニ一ノ
定例トナルト密托之ヲ免ス可カラザルモノト

考フ可カラズ是レ今日ニ義智明ニ基リ他ノ諸
國ト一般極メテ美則ト為スト密托其權國ト國
君ノ專断ニアルヲ以テ一君之ヲ是トスルモ一
君亦之ヲ非トスルヲ得可シ也法律ノ變易
ス可カラザル如キモノニ非ス公益事情ヲ斟酌
シテ絶ヘズ變化スルヲ得可キナリ

第三百一條 右公益事情ヲ斟酌シテ變化セザ
ルヲ得ザルトハ即チ敵ノ行フ所ヲ見テ我亦定
律ヲ變スレテ云フ故ニ敵善レ其疆内ニ在ル我
カ人民ノ貨物ヲ沒收シ或ハ始戦、後我カ民ニ

拂フ可キ負債ヲ拂ハサル時ハ時トシテ之ニ報
 エルニ同一ノ處置ヲ用ニシテ得可レ此互行
 ノ法ヲ用ニルハ辱シ公法ノ准ルス所ニシテ斯
 果徳氏云々交戦ノ時敵國若シ我前ノ貨物ヲ捕
 拿スレハ我モ亦之ヲ捕拿シ敵國給還スレハ我
 モ亦之ヲ給還スルヲ以テ英國ノ常例トス曰氏
 又云ク是レ英國ニテ議定スル建國基礎ノ一律
 ニシテ我時敵國ニ於テ我カ商人ヲ拘留シ其歸
 ルヲ准ルサレハ我モ亦敵國ノ商人ヲ拘留シ
 テ疆ヲ出ヲ准ルサス前條ニ挙ル一千七百五十

三年コレレシアーニノ負債ニ付テ普王強償ヲ行
 ヒタル不當ヲ論セシカ為メ英國公邸尚ホ例ヲ
 引キ君主ニ訴テ云ク嘗テ英國西班牙國ト交戦ノ
 後英國佛國ト猶ホ未タ我ハサルニ英國誤テ佛
 船ヲ捕拿セリ尔後英國佛國ト交戦ニ及フト虫
 凡英國裁廳之ヲ断レテ其船ヲ佛國ノ船主ニ還
 附セリ此ノ如キ船舶船貨ハ我時ト虫凡之ヲ敵
 國ノ貨物トシテ没収スルノ理アル可カラス蓋
 シ英國最初誤認シテ之ヲ得一旦英國ノ所轄ニ
 歸シタルヲ以テナリ

第三百二條 英國近世、習慣ハ更ニ宏寛ナル
 舊法ヲ廢シ、輒近英國他國ト海我ヲ啓ラク時ハ
 其疆内諸港ニ在ル所、敵貨ヲ捕拿シテ我利ト
 為シ、敵國ノ我ニ對シ行フ所ヲ俟テ後テ報スル
 ニ非ス。是レ英國ノ海軍權トシ、英國公邸前條ニ
 述ル和蘭、船舶ニ付キ敵貨捕拿ノ意義ニ據ル
 ルヲ論シタル、斯果德氏、竟見テ辨レテ云ク、爰
 ニ戰爭預定ノ公布ト確定ノ公布ト其間大別アル
 可カラズ。預定ノ公布トナシテ爰レテ確定ノ公布
 トナル、其別甚ク難シトス。

第三百三條 一千八百十二年英米戦争、時米
 國上革執廳ニ於テ決スル所ハ、公布、後米國疆
 内ニ在ル敵貨ハ公會ノ定律中判然敵貨没収ノ
 定例アルニ非レハ、敵貨ヲ捕拿シテ我利ト為ス
 一ヲ得ス。公會ノ定律ニ比シ、如キ例アラサル
 一ヲ決定セリ。夫レ戦争ノ公布ノミニテハ、敵貨ヲ
 没収シテ之カ為メ其執物ヲ助リル能ハス。故ニ
 政府ハ唯敵貨ヲ没収スルノ權アルノミニテ之
 ヲ聽ルスト聽ルサ、んトハ獨リ國君ノ意見ニ
 存スルトス。

月志人自

第三百四條 交戦ノ時ニ當テ債員債ヲ捕拿没
收スルヲ禁シ復ヒ平和ヲ俟テ追索ノ權アルヲ
考フレハ即チ戦時ノム布ノイニテハ断然敵貨
ヲ没收スルヲ得ス唯之ヲ没收スルノ權アルヲ
證スルニ是ルノイ見レ羊國上等執權ニ於テ論
定スル所トス

法律ヲ信シテ取估ヒタル負債ト并ニ法律ヲ信
シ商事ニ於テ得タル貨物ト區別アルヲナシ通
習ニ於テ經令ニ戰事ニ由リ後我カ疆内ニ在リ
敵ノ船舶船貨ヲ捕拿スルヲ得ルト云々平時

商事ニ於テ得タル陸上ノ貨物ヲ捕拿スルヲ聽
ルヤス陸上ノ貨物ヲ捕拿スルハ甚ク稀ニレシ
戦權ノ最モ暴戾ナル處置ト謂フ可キナリ但シ
此ノ如キ習慣ハ一般ニ行ハレスト云々亦事情
已ムヲ得サレ時マシ若シ夫レ始戦ノ後此ノ如
キ敵貨ハ國君ニ歸ス可キヤ或ハ没收ニ屬ス可
キヤ之ヲ取捨スルノ權全ク國君ノ意ニ干係シ
始戦ノ後一物ニ行フヲ得ルノ規則ハ他ノ萬權
ニ行フト云々此戦權ニ於テ更ニ異ナルイナシ故
ニ敵人ノ負債ヲ没收スル王權ハ我カ疆内ニ在

ル他ノ萬貨ヲ沒收スルモ其理一ニシテ敢テ其
權異ナルトナシ

實氏ノ論ニ拠レハ戰時ニ當リ敵國ニ對シテ行
フ所ノ事ハ悉ク之ヲ正理トス敵ノ兵仗ナシト
密ヒ之ヲ殺シ或ハ奸計ヲ施シ或ハ毒藥ヲ用ヒ
以テ敵人敵貨ニ對シテ行フ所ノ權利ハ必ス定
限アル可カラズ然レモ我ノ民ヨリ敵ノニ拂フ
可キ負債ハ戰爭ノ為メ國王之ヲ取ルヲ聽ルサ
ス故ニ戰時此ノ如キ負債ノ討索ヲ免ル者ハ
復ニ平和ヲ俟テ債主尚ホ之ヲ追索スルノ權ア

リ曰氏ニ從ハハ凡ソ戰爭ニ於テ行フ所ノ事ハ
敢テ法律ニ拘泥セズ多ク事實時勢ニ干係スル
ヲ以テナリ曰氏又云ク必ス敵ノ負債ヲ沒收セ
サルトウ真情ト考フ可カラズ是レ敵ノニ於テ
モ其屬スル諸貨或ハ隱匿シテ沒收ヲ免ルモ
ノアルヲ以テナリ

發得耳氏云ク敵國ノ人氏貨物ハ戰爭ニ為
メ我カ疆内ヨリ出サレトスル時之ヲ強留スル
能ハス蓋シ曰氏ノ論スル此規則ハ始戦ノ時現
ニ我カ疆内ニ在ル敵人敵貨ヲ指シテ言フニ過

キスル然レモ 到産現主ナキ貨物金券等ニモ亦均
シク之ヲ及ホス一ヲ得可シ若シ夫レ國君ノ特
命ヲ俟タス戦争ノ際ノミヲ以テ 敵國ノ貨物ヲ
没収スル一ヲ得ル時ハ其貨主ノ現在スル有無
ニ因テ其貨物ヲ許ルスノ理アルカラス又前
ニ論スル平時公信ニ記シテ我カ疆内ニ置キ安
全ヲ計ル敵貨ハ更ニ他人ニ託スヨリ一層信用
スルニ足ルノ理ヲ會スル能ハサルナリ

近世ノ規則ニ於テ我カ國內ニ在ル敵國ノ貨物
ハ始戦ノ時直チニ之ヲ没収ス可カラス大抵實

易ノ約定ニ於テ戦時ニ臨ミ此ノ如キ貨物ハ互
ニ没収スルノ條目ヲ預メ確定シ置クヲ
常例トス

此規則ハ獨リ始戦ノ際ノミヲ以テ敵貨ヲ政府
ニ没収スルヲ得ルノ論ト全ク相反ス是レ戦ハ
敵貨ヲ没収スルノ權アリトモ王命アラサレ
ハ妄リニ没収スル能ハサル一ヲ論スルモノ、
訖ニレテ現今行フ所ノ規則トス

文明各國專ラ仁慈ヲ旨トシテ交通スル公法行
ハレテ後チ英國ノ政体ハ制定スルモノナリ因

テ米國ノ政体ヲ按スルニ戦争ノ公布ヲ為スト
 虫尾未夕他國ニ於テ行ハサル處置ヲ容易ニ許
 ルスヲナシ敵ノ貨物ニ付其我ニ對シテ行フ規
 則ヲ觀テ我カ政府モ敵ニ對シテ同一ノ規則ヲ
 行フ然レモ其貨物ノ自由ハ毫モ妨害スルコトヲ
 容ルヤ、ルヤト

此一般ノ通理ハ嚴ニ米國政体ノ文中ニ顯ハル
 、所ヲ以テ尚ホ能ク定ムルニ足ル可シ即チ其
 辭ニ云ク凡ソ戦争ノ公布ハ唯兩國ヲシテ敵視
 セシメ戦ニ於テ聽ルス所ノ權利ヲ得セシムル

ノミニテ必スシモ公布ノ力ニ依テ敵貨ヲ奪領
 スル如キ戦權ヲ與フル、非ス通例敵國ノ所置
 ニ因テ生スル所ノ事ハ能ク固カラ莫定シテ我
 本之ニ報ユルニヤリ米國公會ハ唯戦争ヲ公布
 シ報復免状ヲ允許シ若シ海陸捕拿ノ規則ヲ設
 クルノ權アルノミトス

此文意ヲ尚ホ簡ニ備ムル時ハ米國公會ニ於テ
 海陸ノ捕拿ニ管スル規則ヲ設クルノ權ハ唯米
 國疆外ノ捕拿ヲ指シテ謂フ所トスル時ハ其權
 猶ホ授レトス故ニ此規則ヲ疆内ニ在ル敵貨ニ

及ホス丁アルヲ以テ考ル時ハ裁廳ニ於テ戦争
公布ノ為ニ非ル特別ノ權威ヲ公會ニ准ルレ
タル丁ト考定ス

公會ノ定例ニ属シ例ヲ挙テ戦争ノ公布ノミニ
テハ必ス当時我カ疆内ニ在ル敵人敵貨ニ對シ
テ、裁物ヲ准ルスコ非ル丁ヲ論定セリ

裁權ハ敵人敵貨ニ對シテ共ニ異ナル丁ナシ故
ニ若シ戦争ノ公布ヲ以テ我カ疆内ニ駐ル敵人
ニ就テ處置スル法律ヲ准ルサ、ル時ハ又我カ
疆内ニ在ル敵貨ニ就テモ之ヲ准ルス丁ナシ夫

レ定例ニ於テ首領ハ敵人ニ就テ十分處置スル
ノ權威アリト由テ戦争ノ公布ノ力ニ依テ此權威
ヲ擅ニスル能ハス

敵國ノ俘虜ヲ安全保護スルノ定例ニ就テモ亦
前ニ異ナル丁ナシ

又敵國トノ通商ヲ禁スル定例ニ云ク米國大統
領ハ敵人ト通商ヲ禁スルノ令ヲ出シテ後六月
間ニ當時米國內ニ在ル英人所屬ノ船舶貨物ヲ
安全ニ收回運送ス可キ免狀ヲ與フルノ權ヲ有

ス

此法律、語味ヲ考フニ、米國立局^法ニ於テ英國
人民ノ貨物ヲ戰爭ニ布^ル為^ル、直チニ米國ノ有
ト為^ルスヲ准ルヤ、ル^レ判然タリ且ツ戰時大統
領ニ與^ルフ^ル不^レ、權威ハ預^メ議定^シテ有^ルス^ルモ
ノ、非^ルナ^リ

戰爭ノ公布^ル、ミ^テ米國疆内ニ在^ル敵貨ヲ没
收スルヲ准ルヤ、ル^レ全^ク疑^ヲ容^レサル所
ト^ス蓋^シ米國公會、議定^シ於^テ英國ニ對^シテ
戰爭ヲ為^スノ定例中ニ此^レ、如^キ没收ヲ准^ルス
ノ言^{アリ}可^キヤ夫^レ兩國始^メ戰^ハ、後^ニ此^レ定例ニ因

テ大統領ニ與^フルノ權威ハ米國ノ海陸軍ヲ專
用スルヲ得^ル兵ヲ興^スヲ得^ル英國政府及^ヒ其人民
所有^ノ船舶貨物ニ對^シ米國、私^ニ艦裝スル戰
艦ニ報復免狀及^ヒ一般^ノ強^ク免狀ヲ出^スヲ得
ルモ、ト^ス此^レ強^ク償ハ戰爭ニ布^ル後^ニ米國ノ疆内
ニ在^ル敵貨ニ對^シテ行^フヲ得^ルト^ス蓋^シ一
國ノ意^ハ此^レ歸^スル^ハ之^ヲ准^ルシ^テ戰爭ノ公布^ニ
託^シテ之^ヲ為^サントスルモ、アルカ如^キハ之
ヲ准^ルヤ^ス

若^シ夫^レ陸上ニテ見^出シタル敵貨或^ハ我^レ米

國人民ノ保守スル貨物ニテ我カ江湾ニ漂着ス
 ル敵貨没収ノ裁判ヲ為ス時代言人強償免状及
 ニ私ニ艦装スル我艦ニ與フル免状ノ權威ヲ以
 テ代言ヲ為スニ非ハテ辯スルニ及ハス蓋シ
 強償免状及ニ捕拿ノ定例ニ果レテ此ノ如キ捕
 拿ヲ准ルスナキヲ以テナリ
 爰ニ敵貨捕拿ノ事ニ付他ニ公會ノ定例ナキヲ
 以テ致フルニ米國立法局ニ於テハ戰爭公事ノ
 時米國疆内ノ敵貨ヲ没収スルナキ又下等裁
 廳ニ於テ言渡レタム没収ノ裁判言渡レテ助ク

ル丁無キ丁判然タム可シ
 然レ此此事ニ付又他ニ考テ可キ意見アリ即チ
 我權ヲ施スニ當リ近世ノ公法ニ因テ没収ス可
 キ萬貨ヲ施法官之ヲ捕拿シ或ハ裁廳之ヲ没収
 スルナキトシ縱令ニ近世ノ習慣ニ因レハ其没収
 ス可カラサル敵貨ヲ没収スルヲ准ルス時ハ必
 ス立法局ノ定例アラサルヲ得スト然レ止ムヲ
 得サル時ハ亦之ヲ行フナリ
 此論ハ近世ノ習慣ニ基ク所ニレテ必スモ主
 權ニ依ルニ非ス直チニ其貨物ニ依テ處置スル

規則ニ由ル所トス然レモ此處置宜シキヲ得ルモノニ非ス蓋シ近世ノ習慣ハ全ク國君ノ意ニ從テ或ハ捕拿スルモノアリ或ハ捕拿セザルモノアリ其規則ヲ制定スルニ至テハ國君ノ決スル所トス

此規則ハ常ニ變易ス可キモノニシテ法律ノ必ス變ス可カラザル如キモノニ非ス事情ニ從テ絶ヘス變化ハ米國ノ如キ通商國ハ大ニ其疆内ニ有スル他國ノ貨物夥多ナルヲ以テ若シ一旦他國ト戰端ヲ開ク時ハ米國疆内ニ在ル敵貨ノ

敵國ノ物ヲ可キ
頁後ノ論

處置ニ就テハ先ツ法律ニ因ルヨリ多ク臨機ノ處置ニ出テサルヲ得ス我カ敵國ノ貨物ニ對シテ施ス所ノ規則ハ敵モ亦我カ國民ノ貨物ニ對シテ均シク行フ可シ其他時ノ勢ニ從テ施ス處置ノ如ク公益ヲ斟酌シテ適宜ノ規則ニ變スルヲ可ナリトシ米國ニテ敵貨ヲ沒收スルノ權立法局ニ在リ然レモ執廳ニ於テ立法局ノ空例ヲ據スレモ未ク戰爭ニ起ル時米國ノ疆内ニ在ル敵貨ヲ沒收スルノ公布アルヲ見サルナシ

第三百五條 凡ソ始戰ノ前敵人之物ヲ可キ

債ニ付テ英國ノ法律ハ專ラ随意有益ノ處置ヲ
貴ヲ以テ多ク海軍權ヲ用エムラ欲セス蓋シ
英國ノ海軍ハ最モ強大ナル故ニ其海軍權ニ依
ル時ハ戰爭公布ノ前捕拿スル敵貨ヲ没収シテ
大ニ利マリトス然レ此爰ニ一國アリ廢ク他ノ
通商國ト交リ多ク國財ヲ散布シテ他國ノ債主
トナル時ハ戰時ニ臨ミ敵國ニ拂フ可キ負債ヲ
没収シテ此ノ利益アリト謂フ可カラス是レ概
子先例ヲ攷フニ若シ我レ敵國ノ負債ヲ没収
レ彼レ亦回一ノ方法ヲ用エム時ハ其大小ヲ較

古負債ニ付米國
先例論

フルニ我ニ在テ極耗多シトス故ニ敵國ノ負債
ヲ没収シ或ハ迫テ負債ヲ我ニ還済セシムル
權猶ホ未タ暗ニ存スト此現ニ之ヲ行フテ甚
ク稀ナリ因テ債主ヨリ負債ヲ討索スルノ權尚
ホ未ク絶エムニ非ス唯戰時之ヲ延滞スルニ
債主復ニ平和ヲ俟テ十分討索スルノ權アリ
第三百六條 敵ニ拂フ可キ負債ヲ没収セザル
事ハ亦米國ノ法律習慣ニシテ即チ英米分立ノ
戰爭前米人ヨリ英人ニ拂フ可キ負債アルニ米
國嚴法ヲ以テ之ヲ没収セズ兩國平和ニ復スル

後々英人之ヲ討索スルノ權全ク回復セリ米國
諸島ノ法律ニ於テ英國ノ負債ヲ集取スルノ害
ハ一千七百八十三年ノ和睦ニ因テ廢棄ス然レ
凡兩國遂ニ其約ヲ守ラズ屢シ債主ニ對シ十分
ノ還債ヲ為スニ至ラサレテ以テ終ニ又兩國爭
端ヲ生ス故ニ米國政府ヨリ債主ニ若干ノ幣銀
ヲ拂テ此爭論ヲ整理スレ一千七百九十四年兩國
通商ノ約定ニ云リ公裁ノ為メ兩國ノ人民互ニ
ニ估フ所ノ約定ヲ損害スルニ至テハ大ニ公明
ノ處置ヲ為ス一國ノ人民ヨリ一國ノ人民ニ抽

英佛先例論

フ可キ負債或ハ人民互ニニ公信ニ託シテ置ク
所ノ幣銀或ハ公私ヲ論セス銀行ニ託スルノ幣
銀等ハ公裁ノ為メ捕奪シテ之ヲ沒收ス可カラ
サルノ條款ヲ追加セ也
第三百七條 一千七百九十三年英佛交戦ノ時
佛國ニ於テ負債及ヒ貨物ヲ沒收セリ故ニ英國
ニ於テモ亦比例ニ做テ佛國ノ貨物ヲ沒收セリ
然レ此一千八百十四年巴里府ニ於テ兩國和議
ノ時約定ノ條款ヲ增加シ雙方沒收ノ例ヲ廢止
シ佛國使臣ヲ遣リ以テ我際佛國ニテ沒收セシ

英人、貨物且ツ一千七百九十二年後佛國ニテ
 没収セシ不正ノ負債貨物損失ノ為メ之ヲ檢査
 セシム此ノ如ク佛國ヨリ損失ヲ強要セシメタ
 ルハ必竟英國佛國ニ對シ我勝ノ權ヲ擅ニスル
 所以ニシテ國ヨリ公平ノ不置ト云フ可カラズ
 蓋シ英國ニ於テ其港内ニ在ル貨物及ヒ大洋ニ
 テ捕拿スル佛國ノ貨物並ニ海軍艦ニ依テ奪フ
 不ノ物ハ兩國和ニ復スルト雖モ英國ニ於テハ
 之ヲ原主ニ追還スルノ約ヲ果サレハナク
 第三百八條 一千八百七年英國暹國ト交戦ノ

一千八百七年英國
 暹國交戦時創

時我争ス者ノ前英國ニ於テ其各港及ヒ大洋ニ
 在ル暹國ノ船舶貨物ヲ捕拿シ始我ノ後其海軍
 權ニ因テ之ヲ没収セリ故ニ暹國政府ニ於テモ
 暹人ヨリ英人ニ拂フ可キ各債ヲ捕拿シテ之ヲ
 暹國政府ノ銀庫ニ收ム可キノ令ヲ出シタリ此
 時英國上等執廳之ヲ論決シテ云ク凡ソ貨物ト
 負債ハ一様ニ視ル可カラズ負債ヲ没収スルニ
 至テハ公法ニ適ハス故ニ如此キ負債ヲ訴ヘラ
 ルモ受理セラル、丁ナレハ後公邸大ニ此通
 習ヲ批駁セレニ由リ當時行ヒタム事ノ外殆レ

戰爭國之民敵不
通商不正論

ト一頁餘年間負債ヲ没収スルハ例ナレ然レモ
此款決テ正定トスルハ甚ク疑フ可キニ似タリ
蓋シ前條既ニ法律ヲ信シテ取結ヒタル負債ト
法律ヲ信シテ得ル所ノ貨物ト固ヨリ別ナク且
ツ負債ヲ没収スル主權ハ戰時疆内ニ在ル貨物
ヲ没収スル主權ト異ナシト無キヲ論シタリ兩
ナカラ特ニ國君ノ意存ニ随フ所ニシテ公法ノ
變ス可カラサレルルキノ規則ニ非ス時ノ事情ニ
因テ王意ノ欲スル所ニ歸スレハナシト
第三百九條 始戦、後直キニ生スル一事アリ

即チ政府ノ許可アルニ非レハ兩國ノ人民通商
交通ヲ得ル能ハサルナリ曾テセ、フーポ船ノ事
件ニ付斯果德氏ノ論ニ云ク此事英國ノ海上律
ノミニ因ルニ非ス乃チ一般公法ノ大理トス實
以云ク是レ即チ法律ノ通理ニシテ一旦戦ヒテ
開クニ至レハ自然兩國ノ通商閉歇スルハ固ヨ
リ自然ノ勢ヒトス別ニ通商禁戒ノ令ナレトモ
凡唯戦争ノ公帛アルヲ以テ之ヲ禁スルニ是レ
可シ蓋シ戦争ノ公帛ハ我カ人民ヲレテ敵ノ
攻撃セシメ或ハ敵貨ヲ捕拿シ其他總テ敵國ニ

司法官

百官ヲ為サシムルニアリ然レモ各國通商ノ便益ト互ヒテ需用ヲ要スルトヲ以テ大抵通商ニ関スル事ハ大ニ我法ヲ寬クセリ故ニ國君其ノ民ノ便宜ヲ考察シテ我時ト至レ或ハ之ヲ准シ或ハ之ヲ禁スルイアリ夫レ通商國ハ其仰ク他品ノ多少ニ從テ我法ヲ定メ或ハ兩國全ク通商ヲ准スイアリ或ハ餘物ヲ禁シ物品ヲ限リテ准スイアリ或ハ又全ク之ヲ禁スルイアリ蓋シ之ヲ考フルニ其全ク准スモ物品ヲ限制シテ准スモ其既ニ之ヲ准スニ至テハ何ノ方法ヲ用ユル

モ心ス爰ニ多少戦争ヲ止メサルト得ス然レハ則チ兩國ノ民ノ間ニ一部戦争ヲモノアリ一部和スルモノアリノ理ナリ

此條例ヲ撰スルニ是レ和蘭ノ法律ニ出ル所トス又發林氏ハ本國ノ船舶或ハ中立國ノ船舶ニテ通商ヲ為スニ拘ラス之ヲ佛國ノ法律ニ出ルト云フゼ、フリード船ノ先例ヲ察スルニ又西班牙國ノ法律ニ出ルト云フ但シ考フシニ概テ是レ歐洲一般ノ法律ト為ス可キナリ

第三百十條 斯果德氏我時交通ヲ禁スルニ二

フリード船ノ事件
斯果德氏ノ決論

理アルヲ論シテ云ハ其一英國ノ法律ニ於テ我
 帝ヲムカシ和議ヲ講スルハ一ノ權アリ其權國君ニ
 歸ス故ニ國君ハ我ヲ止ムルノ權アルヲ以テ時
 アリ通商ヲ便利トスルヲアレハ即チ便宜ヲ考
 察シ一部我ヲ停メ一部通商ヲ准スノ權アリ然
 レモ全國一般ノ便益トナシモ非レハ國民自己
 ノ高利ヲ量リ通商ノ便宜ヲ得ル為メ之ヲ准ス
 能ハス其規則ヲ定ムルニ至テハ事情ヲ廣鑑シ
 交通ヲ洞察シテ後チ國君独リ之ヲ決定ス此
 如キ通商ハ國君ノ直評ヲ得ルニ非レハ決レテ

他ニ之ヲ求ムノ道ナシトス若シ夫レ戰時國民
 敵國ト擅マシ通商スルノ權ヲ有レ或ハ貿易
 ノ名ニ托シテ私カニ敵ニ通スル時ハ因テ生ス
 ルノ弊害則ル可カラズ蓋シ戰時ト雖モ事已ム
 ヲ得ヤルニ出レハ政府ノ保護ヲ得テ兩國ノ人
 民交通貿易ヲ為スニ至テ別ニ弊害アル可キヤ
 寧ロ交通ヲ停メテ衆庶ノ弊害ヲ生スルニ換エ
 可カラズ
 其二ハ前款ヨリ事情ニ管スル稍ハサレト雖モ
 然レモ一般ニ信用スルノ通理ニレテ既ニ

兩國發端ヲ啓リ至レハ即チ其交通ヲ絶テ曾
 テ此國ノ人民彼國ノ人民ト取捨ヒタル約定ヲ
 訴テ其執物ヲ請フ能ハサルモソフ云フ率子各
 國ノ法律ニ於テ敵ノ性格ヲ具フル時ハ之ヲ
 我ニ訴フルヲ得ス本公師代官ノフレテ之ヲ助
 クル能ハサルナシ凡テ約定ヲ遂クルト得サ
 ル國ハ之ヲ正然ノ通商國ト為ス可カラズ既ニ
 其約定ヲ遂ル能ハス猶ホ之カ為ノ執廳ニ出ル
 丁能ハサシ時ハ畢竟法律ニ於テ約定ヲ結フ能
 ハサルモソトス此ノ如キ高事ノ約定ハ全ク正

當ニ出テサレテ以テ法律ノ守護ヲ受ル能ハス
 故ニ法律ノ權ニ戻ルノ高事トス實氏ノ書第一
 卷第六編ニ論シテ云ク凡ソ通商ノ正確ナルモ
 ノト高事ヲ取捨ヒタル雙方互ヒニ執廳ニ訴フ
 ルヲ得ルモノト竝ニ持テ離ル可カラザルモノ
 トス同氏又云ク若シ一度高事ノ訴ヲ聽ル時
 之ヲ他ノ事件ト區別スル能ハス蓋シ一度ニ敵
 人我ニ訴フルトテ聽ル時ハ其真意何ト出ル
 カ之ヲ計ル可カラズ古来其區別ヲ立テ裁判ヲ
 聽ルレタルトナレ

右ノ規則ニ付斯果德氏英國我利執廳ニ於テ裁
 決セシ諸例ヲ挙クシシ嘗テ議院ノ定例ニ因テ
 屢シ航海律及ヒ他ノ稅則ヲ寬ニセシ時或ハ政
 府議院ノ承諾ニ依テ敵國我ニ來テ貿易スルヲ
 准シ而シテ敵國ニ出テハ貿易スルヲ准サハハ時
 或ハ便宜止ムヲ得ヤハニ出テハ我カ國民ニ懸
 ル請求ヲ准ハス時或ハ未タ戰ハサル前積入ル
 所ノ船貨我ニ爭フ事、後懈テ尚ホ未タ出帆セ
 サル時悉ク嚴法ヲ以テ之ヲ裁決シ且ツ此規則
 英國人民ノニテラス同盟ノ民ニモ互ヒニ施行

スルヲ得ルノ通理トシテ裁決ス以上舉ル所ノ
 場合ニ於テ總テ敵國ト交通ヲ准ヤハル丁判然
 ヲ
 同氏ニ從ハハ右各例ノ如キハ歐羅巴ノ公法及
 ヒ各國ノ國律ニ於テ断然敵國ト交通ヲ他ツ規
 則トス是レモ法國法ニ於テ此ノ如ク論定スル
 所ニシテ國王ノ允許ヲ得ルニ非レハ敵國ト交
 通ヲ嚴禁シ又敵國ト約定ヲ取結フモ同レク允
 許ヲ得ルニ非レハ之ヲ許テ裁判ヲ乞フ能ハヤ
 ルノ大理トス

敵國ト通商ニ付
米國執艦決定
論英米通商ニ付
先例

第三百十一條 英米近時、戦争ニ於テ米國人
民敵メト交通セシ時米國執艦亦右ノ規則ヲ用
ヒタリ即チ其一例ヲ奉ルニ 英米未タ我ハサル
前米人英國ニ在テ貨物若干量ヲ買取り之ニ其
近隣ノ海島ニ預托シ始我後米人別ニ船ヲ雇ヒ
代人ヲレテ其場ニ到リ之ヲ本國ニ運回セシム
ルノ途中本國ノ捕船之ヲ捕拿シ我利トシテ没
收セリ此時討主^{ビロント}之ヲ訴テ云ク是レ我争中ノ商
事ニ係ラザルヲ以テ没収セラルハ、ノ理アル可
カラス故ニ我時ト至ラサル前買

得ル所ノ貨物ヲ以テ之ヲ敵國ニ置キ其我ノ
及レテ後之ヲ本國ニ運回スルニ敢テ異議ア
ル可カラサル一ツ、辯論セリ然レモ米國上等執
艦之ヲ断シテ云ク夫レ近世ノ我權益スレ温和
順良ニ届ルト至ル今日ノ事件ノ如キハ敢テ寬
法ヲ以テ之ヲ処ス可カラズ凡リ我争國互ヒ
國民ノ交通ヲ聽ルス時ハ因テ生スル弊害測
ル可カラス譬ハ一國ハ猶ホ一船舶ノ如シ之
ニ乗ルモ、皆運命ヲ共ニセザル可カラズ故ニ
我時ニ在テハ一國ノ人民敵國ノ人民ヲ盡ク仇

視ス見レ即チ米國ノ民ノ義務ナリ米國ノ民
ニレテ此義務ヲ欠ク時ハ其國官以テ然ル可シ
抑戦利ノ法律ハ公法ノ一部トス其法律ニ因テ
敵貨ト認ルハ貿易ヲ行フモノニ拘ラス全ク通
商ノ模様ニ由ル所トス其之ヲ没収スルノ權ハ
敵ノ貨物ヲ没収シ及ヒ申立國ニ非ル外國ノ通
商ニ於テ見出ス所ノ貨物ヲ没収スルト一樣ニ
之ヲ看視ス但シ今日ノ事件ハ全ク米人敵國ト
通商ヲ為スニ係ル所ニレテ也竟其貨物ヲ敵國
ニテ積入ル、所ノモノトス又米人ノ貨物ヲ此

、如ク我利トシテ没収スルニ他ニ亦考フ可キ
事アリ凡ク敵國ヨリ出ス所ノ諸貨ハ盡ク之ヲ
敵貨トス故ニ討主ノ請求ヲ拒絶スルハ理ノ然
ラシムル所ナリ若シ討主米人ニレテ之ヲ訴フ
ル時ハ即チ自ラ求メテ犯罪ヲ發覺セシムルニ
異ナラス此犯罪トハ國法ニ於テ其請求ヲ討ム
ルノ權利ナキヲ訴フルニ因ル又此論只一理ニ
因ル、非ス蓋シ文明通商國ノ習慣ニレテ實ニ
熟慮今日ノ事件ヲ決スルニ至テハ英米各立ノ
我際ニ設立スル我初控訴廳ノ簿記ニ載スル諸

蹟ヲ觀ルニ執廳ノ定律タレド明カナリ原ト此
 規則ハ英米分立ノ戦争前英國ノ法律ニシテ即
 チ米國ニ傳フル海軍律及ニ海上律ノ一部トス
 今日ノ事件ニ付我和法ニ依テ考フレハ全ク捕
 拿シテ没収ス可キヤ是レ唯通商ノ字義ニ干係
 スル所トス我和法ニ於テ此字義ヲ約定取捨ニ
 ノ高事トスル時ハ世ス今日ノ事件此規則ヲ以
 テ罰ス可キモノニ非ル可シ然レモ此規則ノ大
 旨ハ全ク我々國人民ノ交通信誼ヲ絶ツニアリ
 故ニ今日ノ犯罪ヲ定ムルニ就テハ約定ノ有無

ヲ問フナリ其大旨ニ因レハ實ニ交通ハ其他
 罪タルヲ免レサルナリ若シ夫レ通商ノ字義ヲ
 交通ト視テ考フル時ハ今日ノ事件通商ト為ス
 ノ謂レアル可カラズ此ニ由テ之ヲ觀ルニ米國
 ノ人民交戦ノ時其貨物ヲ自國ニ運送スルノ權
 アル可キヤ將テ討主自國ヲ離レテ敵國ニ往キ
 貨物運回ノ權アル可キヤ決シテアル可カラザ
 ルナリ故ニ今日討主船舶貨物ヲ請求スルニ於
 テハ何等ノ節言ヲ用ユルモ決シテ免ルル可カ
 ラザル事件トス

先例
シキヤント止船

第三百十二條 交戦アル、時海外ニ在ルノ船
船既ニ交戦アルヲ明知シ別ニ危難アラサルニ
擅ニ船路ヲ変シテ敵港ニ入港シ貿易ヲ為ス時
ハ其貨物没収セラル、モ所フニ能ハス若シ之
ヲ聽ルス時ハ固ヨリ敵國ト通商ヲ禁スルト更
ニ益ナシト又交戦時続テ敵國ニ在リ貿易ヲ為
シ歸路貨物ヲ積載スル時ハ故意ニ敵港ニ往テ
貿易スルモノト見テ又船舶ヲ執リ可キ定地
アルニ其途中兵力ヲ以テ敵地ノ一方ニ送ラレ
シロフヲ得ス之ニ後フ、模倣ニ述ルト至トモ

先例
シキヤント止船

亦異ナルヲナシ但シ此船舶、亦為ハセラレトモ
船ノ子件ヨリ執艦ニ對シテ指辦スルニ辭アリ
トス
第三百十三條 曾テ英國ニ在テ某人ノ代人ヲ
以テ戦争前貨物ヲ買取リ之ヲ戦争中後殆シ
ト一年ヲ経テ本國へ運回セシ時米船之ヲ捕拿
シテ没収セシ蓋シ戦争前敵國ニ在テ買得タル
貨物ヲ戦争ニ際レテ之ヲ本國ニ收回スルノ權
アリトスルハ即チ交戦アルヲ知ル後急行勉勵
シテ相寄、時間中ニ之ヲ運輸セザル可カラズ夫

月志

先例
同船

レ我争前買得タルト、言ニ託シテ我争、後之
シキニ及ンテ之ヲ敵國ヨリ收回スルヲ准ス時
ハ其弊害恐ル可ク遂ニ敵ノ不正、通商ヲ招
クニ至ル可シ此收回ヲ准ス、權利ハ此、
如ク及シキニ及ホス可キモノニ非ルナリ
第三百十四條 又曾テ英人所有ノ船舶我前貨
物ヲ積載シテ英國リブルポルト港及シ歐羅巴
ノ北方ニ赴キ夫ヨリ本國英國ニ歸着セシ一例
アリ抑シ此行ハ最初米船英國リブルポルト
到リテ其積ム所ノ貨物ヲ卸シ又リブルポルト於テ

他品ヲ積入レ而シテ一千八百十二年六月八日英
國ヨリ免状ヲ得テ魯國ベネチアノ樹ヲ輸出
シ歸路又貨物ヲ積入レ英國ニ輸入ス可キ、心
意ニテ魯都彼得堡ベネチアニ赴キタリ此時米船魯都
着レ初メテ英米我争アルヲ知ルト密氏尚ホ英
國商人ニ積送ル可キ貨物ヲ積載シ龍動ロンドンニ向テ
出帆セシカ終ニ其年瑞典國ニ於テ冬ヲ凌キ翌
一千八百十三年春英國軍艦、護衛ヲ得即チ英
國ニ歸港シテ其貨ヲ渡シ夫ヨリ空船ニニ再ヒ
英國ノ免状ヲ取リ漸ク本國合衆國ニ歸ラント

同船

スル途中摩士敦港燈臺、近傍ニ於テ本國米船
 ノ為メ、捕拿セラレタリ。于時米國裁廳前條、
 決ニ倣ヒ断シテ云ク抑、此事件ニ於テハ米船
 已ニ交戦アルヲ不知スルト雖モ尚ホ貨物ヲ積
 載シテ魯國ヨリ敵地英國ニ航スル、途中若シ
 本國米船、為メ、捕拿セラレ、時ハ船舶船賃
 俱ニ残存トシテ没収ヲ受ク可キ通商ト視サル
 ノ理アル可カラス。蓋シ此海旅ヲ企タルハ船長
 魯都ニ到リテ船錢ヲ得已レ、費用ヲ抑ハサシ
 ヲ得サル事情ヨリ起リ且又船長ノ辯スル如ク

魯都在留、米國公使ニ於テモ此ノ如キ海旅ハ
 更ニ國法ヲ破ルニ非ルノ説ヲ聽クヨリ出ル所
 ニシテ從令ニ其説真ナルニ至テハ更ニ難事件
 ニ及フト至ルニ然レモ裁廳ニ於テハ此處ヲ以テ
 裁決、基本ト為シ教育スルノ理アル可カラズ
 ルト決シタリ。時ニ討主、代官ニ尚ホ此議ヲ
 不當ト思量シ嚴シク辯シテ云ク從令ニ船舶敵
 國ニ雇使セラレ、トモ既ニ其時間ヲ過キ且ツ
 空船ニテ歸路、途中捕拿セラレ、ニ因リ敢テ
 犯罪中、捕拿ト謂フ可カラス。若シ犯罪中捕拿

セラル、時ハ即チ没収セラル、モ聊カ論スル
所ナレトモ其海旅全ク敵港ニ於テ了リ改メ
ニ歸國ノ新旅ヲ促セシ途中捕拿セラレタルヲ
以テ之ヲ犯罪中ノ海旅ト做ス可カラス然レモ
裁廳之ヲ論シテ云ク爰ニ外航ト内航トヲ以テ
其海旅ヲ區別スル時ハ其内航ノ止ルル魯國京
城ヨリ米國ニ歸着スルニ過キス此海旅ノ徒々
所ハ船長中間ノ貿易ヲ行フ為メ自ラ擅ニ船路
ヲ変シテ他ニ航海ス是ヲ以テ中立國ヨリ敵國
ニ到ルヲ更ニ別ノ新旅ト做サ、ルノ論ニ一定

レ討主遂ニ系販レテ全ク歸路ノ序テニ企ツル
高事トセリ即チ概シテ中立國ヨリ敵國ヲ徑テ
ノ航旅ニ出シ此航海中或初トレテ没収ヲ受可
キ犯罪中ノ捕拿トセラレタル

第三百十五條 前條論スル所ニ拠ルニ抑ニ敵
國トノ交通ハ公法國法ニ於テ如何ニ歸ス可キ
ヤヲ論シタリ其法律ノ處置ヲ避ケ其罰ヲ逃シ
トスルニ屢ニ術ヲ施スモノアリトモ其法律
ノ確固変ス可カラサル嚴法ニ因テ盡ク其意ヲ
遂クシ能ハス陽ニ規則外ノ模様アルモ陰ニ却

テ之ヲ堅牢ニス故ニ中立國ト通商スルノ模様
アルモ或ハ敵國ト交戦ヨリテ後ケ通商スルノ
模様アルモ均シク此法律ヲ以テ之ヲ処置ス凡
ソ敵國トノ交通ヲ正実ニスルハ此ス政府ノ免
状アラサルヲ得サルナリ

同盟シテ戦フ時
敵國ト通商ヲ禁
スル論

第三百十六條 戦争國ノ人民敵國ト通商スル
時ハ其本國ノ執廳ニ於テ之ヲ處罰スルノシナ
ラス倘シ同盟シテ戦フ時同盟國ノ人民敵國ト
通商スルモ亦同レク其同盟國ノ執廳ニ於
テ其貨物ヲ没収ス蓋シ此規則ハ他例ヨリ生ス

ル所ニシテ公法國法及ヒ同盟國互ヒノ約定ニ
依テ其通商ヲ禁スル所トス猶ホ本國ノ人民國
ノ許可ヲ得テ敵國ト通商スルヲ得ル如ク又同盟
シテ戦フ時ハ同盟國協儀ノ許可ヲ得ルニ依
ルハ通商スル能ハサルナリ若シ夫レ一國ノ人民
ノカ如キハ敢テ他國ニ管ルナラバ國君獨リ其
國民ニ准ルヌヲ得ルトモ此同盟合兵シテ戦フ
カ如キハ同盟國互ヒニ其目的ヲ破ルル如キ所為
無キノ盟約アラサル可カラズ若シ同盟ノ一國
獨リ其民ニ敵國ト通商スルヲ准ス時ハ其害元

ヨリ知ん可キナリ故ニ同盟國何レ、我利執廳ニ於テモ其國君ヨリ通商ノ許可ヲ得タルト、言ヲ陳シ我カ責ヲ免ル、能ハス必ス其事同盟一般ノ我事ニ妨害ナキカ或ハ列國互ヒ、正許アルカラ證セスンハハル可カラサルナリ

敵ト約定ヲ禁スル論

第三百十七條 又敵國ト貿易通商ヲ禁スル、リ興ル事件ハ我際敵ト私ニ契約ヲ結フ不_レ正トスンニアリ即チ敵トノ貿易ニ請合證文ヲ出ス事兩國ノ民ノ間ニ為替手取ヲ出ス事敵國ニ銀貨紙幣ヲ送ル事或ハ我争ニ布ノ後敵ニ

ト商社ヲ結ビ或ハ公布前在来ノ商社ニ加ハル事等此類皆此規則ニ遵及スルモノトス但其他ノ契約ハ我時唯延滞シテ再ヒ討索ノ權アリト至レ其_レ在来ノ商社ハ我争ニ至レハ即チ解散スルモノトス

万国公法卷之八終

司
洪
省

司
洪
省

言
法
卷

